



神奈川県立川崎図書館 が所蔵する  
 全国有数の〈社史コレクション〉を  
 さらに活用していただくため、  
 社史の使い方や、社史の楽しさ、  
 社史情報などをお届けしていきます。



今回は、今春に担当〇が旅行をした愛媛県に関連した社史を、旅行の一部を回想しながら紹介していきます。

まず、羽田空港を出発して【松山空港】に降り立ちます。

松山空港については、松山空港ビル株式会社『20年の歩み』（1999年刊行）があります。松山海軍航空隊の基地であった吉田浜飛行場を整備して、1956年に民間航空の空港として開港しました。現在は松山市中心部までバスで約二〇分と便利ですが、1997年に空港に直結する道

路が開通するまでは、慢性的な交通渋滞で四〇分ほどかかっていたそうです。

松山市内に入ると大活躍するのが【伊予鉄道】です。1888年に日本の軽便鉄道として初めて汽笛一声をとどろかせました。松山城を中心に松山市駅、道後温泉、JR松山駅を結んで輪をえがくように路線が敷かれた路面電車は、市内電車と呼ばれ、観光にも大変便利です。この市内電車の歴史を知るには、創立125周年史『道は、みらいへ』（2012年刊行）、『伊予鉄道百年史』（1987年刊行）、創立90

周年を記念した『坊っちゃん列車と伊予鉄道の歩み』（1977年刊行）をはじめ、多数あります。

例えば、90周年史には「伊予鉄道の社紋は、その発音のとおり片仮名のイの字を4個菱形に組合せた伊菱紋である」という社章の話、125周年史には2001年に復活した「坊ちゃん列車」について、「できるだけ当時のままに」復元するという当社のこだわりがあった。それは見た目だけでなく、汽笛の音についても同様であった。」という記述や、趣を大切にするために起終点での方向転換は乗務員が人力で行っていること等々が書かれていました。興味深い事柄ですが、この社史を読まなかったら、おそらく知ることはなかったと思います。

（旅は裏面につづく）

# 愛媛産の社史もある

(旅は表面から続く)

松山市内観光が終わったなら、四国と本州を結ぶ【瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)】を渡るのはいかがでしょう。そこでポイントになるのが「橋」です。今治市からまず来島海峡大橋を渡ります。こちらは世界で初めての3連吊橋です。伯方・大島大橋、大三島橋を過ぎ、斜張橋としては世界最長(建設当時)の多々羅大橋、生口橋、因島大橋、尾道大橋を渡れば、広島県尾道市に到着です。この海道には延長すると約80キロの瀬戸内海横断自転車道が設置されているのが特徴の一つです。原動機付自転車、自転車、歩行者の専用の通行帯があるのです。

瀬戸内しまなみ海道について詳しくは、『本州四国連絡橋公団三十年史』(2000年刊行)に書かれています。また、工事に携わった建設会社の社史を見るのもよいでしょう。

愛媛県のお土産に【今治タオル】を購入するのも良いですね。四国タオル工業組合による『今治タオル 120周年記念』(2015年刊行)には、今治タオルの魅力や工程・歴史、特色などについて書かれています。巻末の参考文献を見ると、当館で所蔵している今治織物工業協同組合の『百年の歴史』(1995年刊行)が掲げられていました。ほかに『今治織物組合90年史』(1987刊行)も所蔵しているので、それらを合わせて見ていきました。

「今治タオル」はここ数年、よく耳にするタオルブランドで、私はずっと企業名だと思っていたのですが、百社以上の企業

が集った四国タオル工業組合が、さまざまな事業に取り組んでいて、独自の品質基準をクリアしたものだけが、今治タオルブランドの認定商品となるそうです。

前記の年史によると、今治地方では1716年に綿織物業が始められました。1894年に綿ネルを作っていた阿部平助が、副業としてタオル製造を始めました。その後、製造機器の改良などを進め、1960年、タオルケットの爆発的な売れ行きにより生産が日本一となります。「今治タオル」のブランド化に2006年から取り組みました。

そして、愛媛といえは【ポンジユース】です。インターネットで検索すると株式会社えひめ飲料が製造しているとわかります。しかし当館には同社の社史の所蔵がありません。そこで『県農えひめのあゆみ』(2004年刊行)を見てみると、ポンブランド商品や、株式会社えひめ飲料のことが記載されています。年表を見ていくと、1952年に青果販売農業協同組合連合会がポンジユースの製造を開始し、2003年に「高度化・専門化した事業体制の構築と合理的・効率的運営による経営体制強化のため」に株式会社えひめ飲料を創立したことがわかりました。

このように社史を利用して、旅を振り返り、新たな知識を得るのも楽しいですよ。是非、お試し下さい。

(科学情報課・緒方)

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>